

免荷機能付き歩行器 を導入しました



当院回復期リハビリテーション病棟に入院される患者様の中には自力でベッドから起きることが難しい重症の方がいらっしゃいます。

その様な症状の方に対して、入院早期から安全かつ効果的な立位・歩行訓練が提供できる状況を作るためには複数人のスタッフで支援したり、万が一の転倒を防ぐために余力を残した状態でのリハビリを提供したりする必要があります。その場合、多くの準備や環境的配慮を要するため十分な歩行距離や時間を確保する事が難しく、効果的な訓練を行えるようになることが課題でしたが、2021年11月に免荷機能付き歩行器<オールインワン>を導入することで、早期に安全かつ効果的に立位・歩行訓練を行える体制を構築することが出来ました。

免荷機能付き歩行器はその名前の通り、体重を支える機能(=免荷機能)が付いた歩行器で、国内・海外と複数の企業からそれぞれの特徴を持ったものが貸与・販売されております。

当院では耐荷重量と他の歩行補装具との相性を考慮してデンマークのROPOX社製のオールインワンという免

▼免荷機能付き歩行器(オールインワン)



荷機能付き歩行器を導入することになりました。従来、重症の方の立位・歩行訓練を行う際、長下肢装具と呼ばれる、つま先から太ももまでを固定し下肢での支持を支援する装具を使用することがあります。この装具の耐荷重が70kgであり、大柄の男性であると使用できないことでリハビリが進みにくい要因の一つとなっていました。他の免荷機能付き歩行器の耐荷重が80~100kgであるのに対して今回導入に至ったオールインワンは耐荷重150kgと優れたパワーを発揮できます。その為、従来平行棒を用いて2人のスタッフが患者様の体を支えながら足を振り出す支援を行い3mの往復程度しか歩行練習ができない方に対しても、1人のスタッフが動作を誘

導しつつ20m～40mと長い距離を連続で歩行練習することが可能となりました。

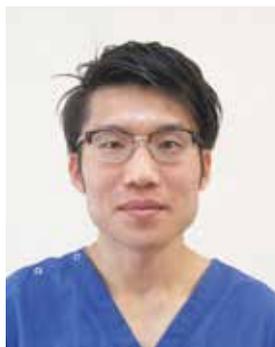
免荷機能付き歩行器オールインワンは立位・歩行訓練を積極的に行いたいけれども体力やバランスに不安がある方に対して相性の良いリハビリテーション機器の一つです。当院リハビリテーション科では患者様の状態に合わせてその時々で必要な機能・動作訓練を道具や機器を組み合わせせてリハビリテーションプログラムを提供しておりますので、免荷機能付き歩行器での練習一辺倒と

はなりませんし、真に必要な練習は別に存在するかもしれません。とはいえ、歩行の可能性を拡げることができる免荷機能付き歩行器の導入により選択肢が増えたことは間違いないかと思います。今後も地域に密着したリハビリテーション病院として、こういった機器等も活用しながら充実したリハビリテーションを提供できるよう努力してまいります。入院のご相談は患者支援室までお気軽にご連絡ください。

リハビリテーション科
理学療法士 渡邊 和裕



ご紹介
新任医師



整形外科 山崎 諒平

外来担当日: 毎週火曜日

ご挨拶

2022年度より診察させて頂いている山崎 諒平です。整形外科一般診察させて頂いております。

外傷や慢性疾患、手術が必要な症状も含めご相談頂ければ幸いです。出身は相模原で、地元の医療に貢献させて頂ければと思います。宜しくお願い致します。

訪問看護ステーション「ルピナス」のご紹介

さがみリハビリテーション病院には、訪問看護ステーションと訪問リハビリテーションがあります。今回は訪問看護ステーション「ルピナス」を詳しくご紹介します!

「ルピナス」には現在8名の看護師と3名のリハビリスタッフ(理学療法士)が在籍しています。

看護師の訪問では、日常生活の困りごとからお看取りまで、24時間体制の緊急対応を行っており、吸引や点滴、在宅酸素等、様々な状況の方を訪問させて頂いています!

リハビリスタッフの訪問では、要介護の方から医療保険(小児から難病指定の疾患、終末期)を利用されている方、幅広く対応しており、折々で主治医、看護師と連携を取りながら訪問させて頂いています。利用をご検討の方(要介護の方)は、まずはご自身の担当ケアマネージャーにご相談ください。女性のリハビリスタッフも在籍していますので、お気軽にお声かけ下さい!

病院の訪問リハビリテーションとの違いとは?

訪問看護指示書をもとに看護師とリハビリスタッフで連携を図りサービス提供しているためタイムリーに意見交換することが出来ます。

例えば、「ケアする時の身体の向きや手足の位置等を共有できる。」「リハビリスタッフからの発見を随時看護師に報告できる。」といったことです。また、「お薬が変更になったから気を付けて。」「ご家族がこんなことを心配していたよ。」等の情報交換も随時行っており、様々な症状の利用者様に安心・安全なリハビリ提供を行うことが出来ます。

重症度が高い利用者様も看護師がモニタリング・評価を行い、必要なケアを実施。リハビリでの評価も統合することでリスク管理をし、安全にリハビリの提供を行う事が可能になります。

看護師とリハスタッフそれぞれで訪問するため、週に複数回の訪問が可能になり手厚いサービスの提供を行っています。



訪問エリア

下九沢、上九沢、橋本、南橋本、西橋本、東橋本、橋本台、元橋本町、相原、二本松、大島、大山町、小山、宮下、宮下本町2・3丁目、すすきの町、氷川町、相模原、清新、小町通、中央、横山、横山台、星が丘、上溝、田名、矢部、洲野辺1~4丁目、向陽町、相生、富士見、千代田、陽光台、光が丘、並木、弥栄1・2丁目、高根2丁目、鹿沼台、向原、久保沢1・3丁目、原宿、原宿南、町屋、県道48号を超えない川尻

※訪問エリア内は別途交通費を頂かず、訪問しております。エリア外のみ別途交通費として220円を頂きます。

営業日・時間

営業日：月曜日～土曜日(日・祝、年末年始 休業)
営業時間：8:30～17:30

お問い合わせ先

☎ **042-775-6901**

時間：8:30～17:30

住所：相模原市中央区下九沢67-1

FAX：042-774-1370



交通案内

アクセスマップ



■電車でお越しの場合

JR 相模線「南橋本駅」下車 西口より 徒歩15分

■バスでお越しの場合

○「橋本駅」から来院される場合

神奈川中央交通バス【橋本駅 南口1番乗り場 橋58】

- ・下九沢団地行き→日電寮前下車→徒歩2分
- ・下九沢団地行き→下九沢団地→徒歩2分

○「相模原駅」から来院される場合

神奈川中央交通バス【相模原駅 南口8番乗り場 相36】

- ・下九沢団地行き→日電寮前下車→徒歩2分
- ・下九沢団地行き→下九沢団地→徒歩2分

病院理念

愛し愛される病院

基本方針

地域の幸福な生活を応援すべく、
「自立と予防」を二本柱に掲げ、
医療・福祉の充実を目指す

病院概要

許可病床数

130床(全床 回復期リハ)

診療科目

内科、神経内科、整形外科、脳神経外科、
リハビリテーション科

診療受付時間

平日 8:30~12:00

※診療科によって受付時間が異なるため、ホームページをご確認頂くか、お問い合わせください。

付帯施設

- ・通所介護事業所 ユースフルデイりあくと
- ・訪問リハビリテーション
- ・居宅介護支援事業所 タイム
- ・訪問看護ステーション ルピナス
- ・訪問介護事業所 菜のはな
- ・サービス付き高齢者向け住宅 ユノトレメゾンさがみ

リハビリ体制

脳血管リハビリテーション、運動器リハビリテーション、
廃用症候群リハビリテーション

医療法人社団 哺育会

さがみリハビリテーション病院

代表 ☎ 042-773-3211

〒252-0254

神奈川県相模原市中央区下九沢54-2

<https://sagami-rh.or.jp/>

